

事務事業評価調書

事務事業名	水路総務事業				
担当部名	下水道部	室課名	水循環室	室課長名	辻田 康宏

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	不明	改正 内容																		
(2) 直近の改正	なし																			
(3) 根拠法令等	吹田市認定外道路・水路等管理条例等																			
(4) 市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)																	
	一部にチェックした場合はその説明																			
(5) 総合計画の体系	章	06	安全で魅力的なまちづくり	節	02	細節	70													
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他															
		範囲等	水路維持管理に必要な事務																	
	目標 (どういう状態にしたいのか)	水路維持管理業務を支障なく行う。																		
	結果 (どのような効果が得られるのか)	安全で快適な都市環境の確保																		
(7) 事業概要	水路、排水管等の維持管理(消耗品、保険料、負担金等)																			
(8) H28事業別 予算コード	会計	01	款	08	項	03	目	01	大	事	業	02	中	事	業	01	小	事	業	01
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)													
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)													
	事業費(A)		3,297	3,049	3,758	3,745	4,292													
	人件費	職員数	人	0.40	0.40	0.40	0.40													
		総額(B)	千円	3,341	3,216	3,268	3,160													
	総事業費(A+B)		6,638	6,265	7,026	6,905	7,513													
	(内訳)	特定財源(C)		0	44	10	10													
		国		0	0	0	0													
		府		0	0	0	0													
		その他		0	44	10	10													
	(内訳)	市負担(D)		6,638	6,221	7,016	6,895													
		地方債		0	0	0	0													
		その他		0	0	0	0													
一般財源		6,638	6,221	7,016	6,895															
財源計(C+D)		6,638	6,265	7,026	6,905	7,513														
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施																			
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①																	
			②																	
			③																	
	主な委託内容																			
<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①		安威川ダムに係る水特法第12条負担金																
		②		淀川右岸水防事務組合分担金																
		③		淀川右岸治水促進期成同盟負担金																
<input checked="" type="checkbox"/> その他	内容	水路用地賃借料等																		

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	無し	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	0.00	
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	(2)	①	無し	目標値	(単位:)	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	
達成度(%)				0.0	0.0		
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	0.00	
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(2) 成果指標		①	無し	目標値	(単位:)	0.00	0.00
	実績値			(単位:)	0.00	0.00	
	達成度(%)			0.0	0.0		
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	0.00	
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	無し	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	0.00		
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が指標で難し 場合を示す	①	活動内容	水路、排水管等の維持管理事務(消耗品費、保険料、負担金等)		目標	水路維持管理業務を支障なく執行する。	
	②	成果内容	管理物件の維持管理業務が支障なく執行され、安全で快適な都市環境が確保される。		達成状況	維持管理事務が適切に実施され、安全で快適な都市環境の確保に寄与した。	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		水防に伴う負担金や水路用地の借地料であり、市民の安心安全の確保や水路機能を維持するため継続する必要がある。				

事務事業分析シート

所属名	水循環室	事業名	水路総務事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00765				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 c. 定量的な指標設定ができておらず、目標や達成状況の分析も十分できていない。(1点)	1	点
(2) 有効性 (20点)	12	②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	16	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討している。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
		②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
(4) 公平性 (20点)	0	④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	75	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	水循環室	事務事業番号	00765
-----	------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>本事業は、水防に伴い必要な負担金、水路用地の借地料であり、市民の安心安全の確保や水路の維持管理を行う上で必要である。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	水路維持管理事業				
担当部名	下水道部	室課名	水循環室	室課長名	石黒 秀樹

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	不明	改正 内容												
(2)	直近の改正	なし													
(3)	根拠法令等	吹田市認定外道路・水路等管理条例等													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	06	安全で魅力的なまちづくり	節	02	細節	70							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
		範囲等	吹田市が管理する水路等												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	支障なく水が流れるために適切な維持管理を行う。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	安全で快適な都市環境を確保し、市民の命を守り、まちの品格を保つ。													
(7)	事業概要	水路、排水管等の維持管理(清掃・調査、補修・修繕、光熱水費等)													
(8)	H28事業別 予算コード	会計	01	款	08	項	03	目	02	大事業	01	中事業	01	小事業	01
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		64,339	57,160	54,860	54,860	71,084							
		人件費	職員数	人	2.50	2.50	2.25	2.25	2.25						
			総額(B)	千円	20,880	20,098	18,383	17,776	18,117						
		総事業費(A+B)		85,219	77,258	73,243	72,636	89,201							
		特定財源(C)		0	0	0	0	0							
		(内訳)	国	0	0	0	0	0							
			府	0	0	0	0	0							
			その他	0	0	0	0	0							
		市負担(D)		85,219	77,258	73,243	72,636	89,201							
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
その他	0		0	0	0	0									
一般財源	85,219		77,258	73,243	72,636	89,201									
財源計(C+D)		85,219	77,258	73,243	72,636	89,201									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
		<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	清掃業者等										
				②											
				③											
		主な委託内容		吹田市内水路及び排水管の清掃等											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	水路等の維持管理	目標値	(単位: km)	47.00	47.00	0.00
			実績値	(単位: km)	47.00	47.00		
		達成度(%)		100.0	100.0			
	目標値の積算方法	水路の管理延長	単位当たりコスト	総事業費(単位: 千円)		1,643.79	1,558.36	
				一般財源(単位: 千円)		1,643.79	1,558.36	
	(2) 成果指標	②	指標内容	無し	目標値	(単位:)	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位: 千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位: 千円)		0.00	0.00	
(3) が困難な場合		①	指標内容	無し	目標値	(単位:)	0.00	0.00
	実績値			(単位:)	0.00	0.00		
	達成度(%)		0.0	0.0				
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位: 千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位: 千円)		0.00	0.00	
	②	指標内容	無し	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)		0.0	0.0					
③	活動内容		目標					
		成果内容	支障なく水が流れ、安全で快適な都市環境を確保する。	達成状況	水路施設に必要な維持管理を行い、安全で快適な都市環境の確保に寄与した。			
(4) 総合評価	今後の方向性 (実施計画)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定						
	評価の説明	水路等は雨水排水や大雨時の雨水貯留機能を有しており、快適な生活環境の確保や市民の安心・安全に寄与していることから、今後も水路等を適切に維持管理するため継続する必要がある。						

事務事業分析シート

所属名	水循環室	事業名	水路維持管理事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00766				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
		②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	85	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	水循環室	事務事業番号	00766
-----	------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>全体として管理施設が多く、また老朽化も進んでいるため、定期清掃や計画的な施設調査を実施し、必要に応じて補修等を行うなど予防保全に努めているが、予算や職員の確保が課題である。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	下水道維持管理事業(下水道特別会計)				
担当部名	下水道部	室課名	水循環室	室課長名	石黒 秀樹

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	不明	改正内容	官民連携による浸水対策、下水道施設の老朽化対策による機能の持続的な確保、再生可能エネルギーの活用促進等。											
(2)	直近の改正	平成27年													
(3)	根拠法令等	下水道法、吹田市下水道条例等													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	06	安全で魅力的なまちづくり	節	02	細節	70							
(6)	目的	対象(誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
		範囲等	公共下水道施設(公共下水道管渠及び圧送施設等)												
		目標(どういう状態にしたいのか)	支障なく下水処理できるよう適切な維持管理を行う。												
	結果(どのような効果が得られるのか)	安全で快適な都市環境を確保し、市民の命を守り、まちの品格を保つ。													
(7)	事業概要	公共下水道施設の維持管理(清掃・調査、補修・修繕、光熱水費等) 【平成29年度より企業会計に移行】													
(8)	H28事業別予算コード	会計	03	款	01	項	01	目	02	大事業	01	中事業	01	小事業	01
(9)	事業費と財源の内訳	項目		平成27年度(2015年度)		平成28年度(2016年度)		平成29年度(2017年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		293,788	250,319	267,562	254,526	0							
		人件費	職員数	人	10.50	10.50	11.00	11.00	0.00						
			総額(B)	千円	83,538	79,674	87,252	86,142	0						
		総事業費(A+B)		377,326	329,993	354,814	340,668	0							
		特定財源(C)		172,730	143,635	169,000	340,668	0							
		(内訳)	国	0	0	0	0	0							
			府	0	0	0	0	0							
			その他	172,730	143,635	169,000	340,668	0							
		市負担(D)		204,596	186,358	185,814	0	0							
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
			その他	204,596	186,358	185,814	0	0							
一般財源	0		0	0	0	0									
財源計(C+D)		377,326	329,993	354,814	340,668	0									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
		<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	清掃業者等										
				②											
				③											
		<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①											
②															
③															
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	公共下水道施設の維持管理	目標値	(単位: km)	874.00	864.00	0.00
			実績値	(単位: km)	874.00	864.00		
		達成度(%)		100.0	100.0			
	目標値の積算方法	公共下水道施設の管理延長	単位当たりコスト	総事業費(単位: 千円)		377.57	395.58	
				一般財源(単位: 千円)		0.00	0.00	
	(2) 成果指標	②	指標内容	無し	目標値	(単位:)	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位: 千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位: 千円)		0.00	0.00	
(3) が 困難な場合		①	指標内容	無し	目標値	(単位:)	0.00	0.00
	実績値			(単位:)	0.00	0.00		
	達成度(%)		0.0	0.0				
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位: 千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位: 千円)		0.00	0.00	
	②	指標内容	無し	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)		0.0	0.0					
③	活動内容		目標					
		成果内容	支障なく下水を処理し、安全で快適な都市環境を確保する。	達成状況	公共下水道に必要な維持管理を行い、安全で快適な都市環境の確保に寄与した。			
(4) 総合評価	今後の方向性 (実施計画)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定						
	評価の説明	公共下水道は都市基盤を支える社会インフラであり、その機能を維持管理することは市民の快適な生活環境の確保や雨水排除に必要な不可欠なことから継続する必要がある。 なお、下水道事業は平成29年度から地方公営企業法の一部(財務規定等)を適用し、企業会計に移行しました。これに伴う予算の再編等により、事務事業評価の継続性を確保できないため、平成29年度に係る記載欄については、記載なしとしています。						

事務事業分析シート

所属名	水循環室	事業名	下水道維持管理事業(下水道特別会計)	事業区分	内部管理
事務事業番号	00767				

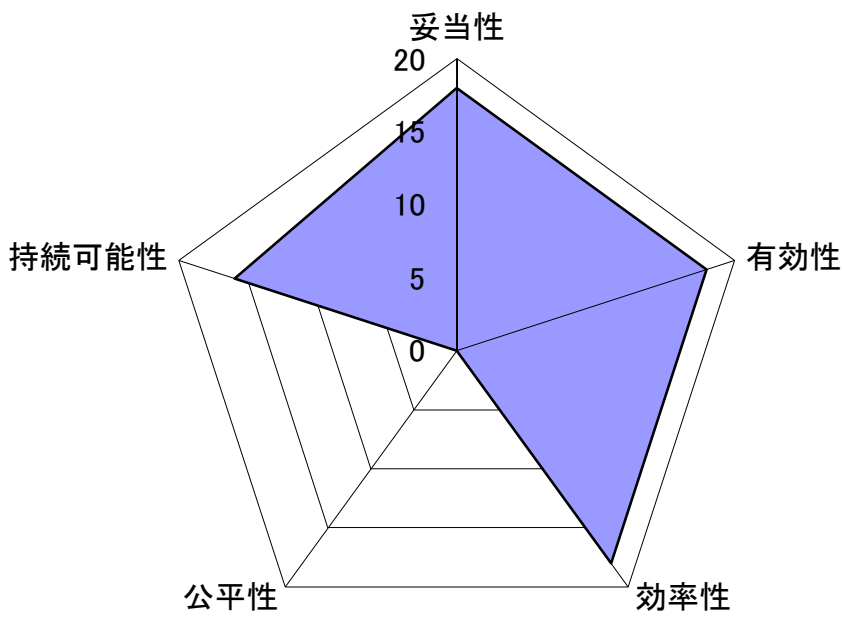
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
		②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	87	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	水循環室	事務事業番号	00767
-----	------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他												
(2)各視点からの評価結果	 <table border="1"> <caption>各視点からの評価結果 (Radar Chart Data)</caption> <thead> <tr> <th>視点</th> <th>評価結果 (点数)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>妥当性</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>持続可能性</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table>			視点	評価結果 (点数)	妥当性	18	有効性	15	効率性	10	公平性	10	持続可能性	10
視点	評価結果 (点数)														
妥当性	18														
有効性	15														
効率性	10														
公平性	10														
持続可能性	10														
(3)現状分析	<p>全体として管理施設が膨大であり、また老朽化が進んでいるため、定期清掃や計画的な施設の点検・調査とともに職員による巡視を実施し、必要に応じて補修等を行うなど予防保全に努めているが、予算や職員の確保が課題である。</p>														

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

下水道事業は平成29年度から地方公営企業法の一部(財務規定等)を適用し、企業会計に移行しました。

事務事業評価調書

事務事業名	水洗便所普及促進事業(下水道特別会計)				
担当部名	下水道部	室課名	水循環室	室課長名	辻田 康宏

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	昭和41年度	改正内容	改造助成金交付方法の変更(前渡金制度による現金の支払いから、金融機関口座への振込への変更、指定工事店の委任受領を、申請者への直接支払いに変更、助成金交付決定通知書、助成金交付請求書の追加)											
(2)	直近の改正	平成23年度													
(3)	根拠法令等	下水道法、吹田市下水道条例													
(4)	市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部		<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)		<input checked="" type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)									
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	06	安全で魅力的なまちづくり	節	02	細節	70							
(6)	目的	対象(誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	公共下水道供用開始区域内の未水洗家屋												
		目標(どういう状態にしたいのか)	水洗便所を普及させる。												
	結果(どのような効果が得られるのか)	都市の健全な発達及び公衆衛生の向上、公共用水域の水質保全、またこれらにより得られる快適な生活環境の確保。													
(7)	事業概要	公共下水道供用開始区域内の、汲み取り便所の水洗化(し尿浄化槽の放流先切り替え等含む)の促進を図る。 【平成29年度より企業会計に移行】													
(8)	H28事業別予算コード	会計	03	款	01	項	03	目	01	大事業	01	中事業	01	小事業	01
(9)	事業費と財源の内訳	項目		平成27年度(2015年度)		平成28年度(2016年度)		平成29年度(2017年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		184	129	5,966	5,378	0							
		人件費	職員数	人	2.00	2.00	3.00	3.00	0.00						
			総額(B)	千円	15,912	15,176	23,796	23,494	0						
		総事業費(A+B)		16,096	15,305	29,762	28,872	0							
		特定財源(C)		16,004	15,201	28,880	28,872	0							
		(内訳)	国	0	0	0	0	0							
			府	0	0	0	0	0							
			その他	16,004	15,201	28,880	28,872	0							
		市負担(D)		92	104	882	0	0							
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
その他	92		104	882	0	0									
一般財源	0		0	0	0	0									
財源計(C+D)		16,096	15,305	29,762	28,872	0									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 くみ取り便所、浄化槽利用家屋への水洗便所等改造の普及促進を図るための調査や普及活動件数。	目標値	(単位:件)	180.00	300.00	0.00
			実績値	(単位:件)	187.00	308.00	
			達成度(%)		103.9	102.7	
	目標値の積算方法	普及促進件数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	81.84	94.72	
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00	
	②	指標内容 無し	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(2) 成果指標	①	指標内容 対象家屋が公共下水道に接続する戸数	目標値	(単位:戸)	30.00	30.00	0.00
			実績値	(単位:戸)	18.00	22.00	
			達成度(%)		60.0	73.3	
	目標値の積算方法	水洗化改造、浄化槽切替による公共下水道への接続件数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	850.28	1,326.09	
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00	
	②	指標内容 無し	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標	
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		<p>水洗化の普及促進は、公衆衛生の向上、公共用水域の水質保全及び快適な社会生活環境を確保するうえで必要不可欠であり、本市は水洗化率100%を目標とすることから、今後も助成金や融資あっ旋制度についても周知しながら、事業を継続していく。</p> <p>なお、下水道事業は平成29年度から地方公営企業法の一部(財務規定等)を適用し、企業会計に移行しました。これに伴う予算の再編等により、事務事業評価の継続性を確保できないため、平成29年度に係る記載欄については、記載なしとしています。</p>				

事務事業分析シート

所属名	水循環室	事業名	水洗便所普及促進事業(下水道特別会計)	事業区分	その他
事務事業番号	00769				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	14	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。 b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	14	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 b. 滞納等に対して、適正な措置を講じているが、収納率には課題がある。(3点)	3	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	76	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	水循環室	事務事業番号	00769
-----	------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他												
(2)各視点からの評価結果	<table border="1"> <caption>各視点からの評価結果 (Radar Chart Data)</caption> <thead> <tr> <th>視点</th> <th>評価結果 (0-20)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>妥当性</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>持続可能性</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table>			視点	評価結果 (0-20)	妥当性	15	有効性	10	効率性	10	公平性	5	持続可能性	10
視点	評価結果 (0-20)														
妥当性	15														
有効性	10														
効率性	10														
公平性	5														
持続可能性	10														
(3)現状分析	<p>水洗化率100%を目標に職員により地道な普及促進活動を行っているが、家屋所有者の事情もあり、目標どおり達成できていないのが実情である。</p>														

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

下水道事業は平成29年度から地方公営企業法の一部(財務規定等)を適用し、企業会計に移行しました。

事務事業評価調書

事務事業名	農業用水路維持管理事業				
担当部名	下水道部	室課名	水循環室	室課長名	石黒 秀樹

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	不明	改正 内容												
(2)	直近の改正														
(3)	根拠法令等														
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	07	活力あふれにぎわいのあるまちづくり	節	01	細節	40							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
		範囲等	農業用水路												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	支障なく水が流れるよう適切な維持管理を行う。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	良好な農業用水路の確保。													
(7)	事業概要	大阪府土地改良事業団体連合会及び大阪府ため池総合整備推進協議会の事業を推進し、また農業用水路の維持管理に必要な原材料を購入する。													
(8)	H28事業別 予算コード	会計	01	款	06	項	01	目	04	大事業	02	中事業	01	小事業	01
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		377	238	301	301	300							
		人件費	職員数	人	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10						
			総額(B)	千円	836	804	817	790	806						
		総事業費(A+B)		1,213	1,042	1,118	1,091	1,106							
		特定財源(C)		0	0	0	0	0							
		(内訳)	国	0	0	0	0	0							
			府	0	0	0	0	0							
			その他	0	0	0	0	0							
		市負担(D)		1,213	1,042	1,118	1,091	1,106							
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
その他	0		0	0	0	0									
一般財源	1,213		1,042	1,118	1,091	1,106									
財源計(C+D)		1,213	1,042	1,118	1,091	1,106									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①	大阪府土地改良事業団体連合会										
②	大阪府ため池総合整備推進協議会														
③															
<input checked="" type="checkbox"/> その他	内容	維持管理に必要な原材料の購入													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 無し	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容 無し	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容 無し	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容 無し	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) の3が困難な場合を示す	①	活動内容	農業用水路の維持管理に必要な原材料の購入及び大阪府土地改良事業団体連合会、大阪府ため池総合整備推進協議会への負担金交付を行っている。		目標	支障なく水が流れるよう適切に維持管理されること。	
	②	成果内容	良好に農業用水路が確保される。		達成状況	農業用施設が良好に使用されていることから、事業が適切に実施されたと考える。	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		農業用水路やため池等は、大雨時の水防等にも貢献できることから継続する必要がある。				

事務事業分析シート

所属名	水循環室	事業名	農業用水路維持管理事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00771				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	10	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 c. 市民ニーズは低下している。又は市民ニーズを把握できていない(1点)	1	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	14	③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 c. 具体的な成果があまりない状況である。(1点)	1	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 c. 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない。(1点)	1	点
(3) 効率性 (20点)	12	①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
		②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
(4) 公平性 (20点)	0	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	70	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	水循環室	事務事業番号	00771
-----	------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

農業用水路やため池は、大雨時の水防等にも貢献できることから継続する必要がある。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>農地の減少に伴い農業用水路も減少してきており、将来的には、縮小や水路維持管理事業への統合も検討が可能である。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	農業用施設局部改良事業				
担当部名	下水道部	室課名	水循環室	室課長名	松川 豊

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	不明		改正 内容	水行政(排水)の一元化に伴い、(旧)建設部から下水道部に事務移管されたため。										
(2) 直近の改正	平成元年度													
(3) 根拠法令等	なし													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部		<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)		<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)									
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	05	環境を守り育てるまちづくり		節	02	細節	10						
(6) 目的	対象 (誰を、何を)		区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他								
	範囲等		吹田市内の農業用水路、ため池、ゲート等											
	目標 (どういう状態にしたいのか)		農業用施設の不良個所の改良を行う。											
(7) 事業概要	結果 (どのような効果が得られるのか)		適正な治水や利水機能の確保及び効率的な維持管理が可能となる。											
	吹田市内各所の農業用施設の治水・利水機能確保のため局部改良工事を行う。また、工事の積算業務を円滑にするため、土地改良工事積算基準等を購入する。													
(8) H28事業別 予算コード	会計	01	款	06	項	01	目	04	大事業	01	中事業	01	小事業	01
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		27	24	29	27	29							
	人件費	職員数	人	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20						
		総額(B)	千円	1,671	1,608	1,634	1,580	1,611						
	総事業費(A+B)		1,698	1,632	1,663	1,607	1,640							
	特定財源(C)		0	0	0	0	0							
	(内訳)	国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
	市負担(D)		1,698	1,632	1,663	1,607	1,640							
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
一般財源		1,698	1,632	1,663	1,607	1,640								
財源計(C+D)		1,698	1,632	1,663	1,607	1,640								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先		①										
				②										
				③										
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金		交付先		①									
②														
③														
<input type="checkbox"/> その他		内容												

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が困難な場合を示す	①	活動内容	<ul style="list-style-type: none"> 農業用施設の局部改良工事を行う。 土地改良事業における工事の積算に必要な資料の購入。 		目標	農業用施設の治水や利水機能を確保する。	
	②	成果内容	土地改良事業における工事の積算に必要な「土地改良工事積算マニュアル」及び「工事請負契約実務便覧」を購入した。		達成状況	治水や利水機能が確保できている。	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		老朽化した農業用施設(水路、ため池、樋門等)を施設管理者からの要望に基づき、治水、利水を見極め、大阪府補助制度を活用しながら、改良等することで良好な施設環境を維持する事業であり、事業量としては少ないが、必要な事業であるため継続とした。				

事務事業分析シート

所属名	水循環室	事業名	農業用施設局部改良事業	事業区分	その他
事務事業番号	00772				

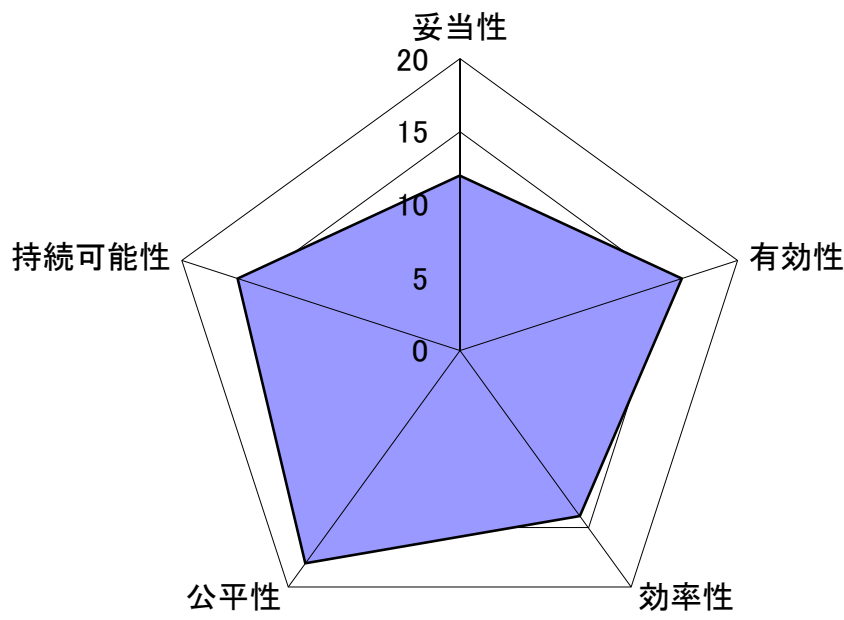
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点			
(1) 妥当性 (20点)	12	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3	点	
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点	
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点	
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点	
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点	
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点	
(2) 有効性 (20点)	16	③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点	
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点	
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点	
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点	
(3) 効率性 (20点)	14	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点	
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点	
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点	
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点	
(4) 公平性 (20点)	18	③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点	
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点	
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点	
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3	点	
(5) 持続可能性 (20点)	16	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点	
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点	
		評価点合計 (100点満点)	76	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	水循環室	事務事業番号	00772
-----	------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果	 <p>The radar chart displays five dimensions: 妥当性 (Justification), 有効性 (Effectiveness), 効率性 (Efficiency), 公平性 (Fairness), and 持続可能性 (Sustainability). The scale ranges from 0 to 20. The scores are approximately: 妥当性: 18, 有効性: 15, 効率性: 12, 公平性: 8, 持続可能性: 10.</p>		
(3)現状分析	<p>農業用施設を利用している受益者は、特定の者となり減少傾向にあるが、サービスの対象範囲や水準は、受益者以外の市民から見ても理解が得られると判断しており、公平な事業と考えている一方、過去10年間に おいて3件の改良に留まっている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

特になし。

事務事業評価調書

事務事業名	河川親水環境整備事業				
担当部名	下水道部	室課名	水循環室	室課長名	松川 豊

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成21年度	改正内容	なし											
(2) 直近の改正	なし													
(3) 根拠法令等	なし													
(4) 市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input checked="" type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明		糸田川河川清掃については、河川管理者である茨木土木事務所と吹田市で経費を半額ずつ負担している。											
(5) 総合計画の体系	章	05	環境を守り育てるまちづくり	節	01	細節	20							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	吹田市内の河川											
	目標 (どういう状態にしたいのか)	河川管理者との協働により、河川を清掃して美化する。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	河川環境が向上する。												
(7) 事業概要	河川管理者である大阪府との協働により、市内の河川を清掃して、河川環境美化を図っている。													
(8) H28事業別 予算コード	会計	01	款	08	項	03	目	01	大事業	03	中事業	01	小事業	01
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		723	594	713	594	713							
	人件費	職員数	人	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20						
		総額(B)	千円	1,671	1,608	1,634	1,580	1,611						
	総事業費(A+B)		2,394	2,202	2,347	2,174	2,324							
	特定財源(C)		361	297	356	0	0							
	(内訳)	国	0	0	0	0	0							
		府	0	0	0	0	0							
		その他	361	297	356	0	0							
	市負担(D)		2,033	1,905	1,991	2,174	2,324							
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
		その他	0	0	0	0	0							
一般財源		2,033	1,905	1,991	2,174	2,324								
財源計(C+D)		2,394	2,202	2,347	2,174	2,324								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input checked="" type="checkbox"/> その他	内容	雑入 河川清掃業務負担金(大阪府茨木土木事務所)												

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 河川の環境整備を行う。	目標値	(単位:回)	1.00	1.00	0.00
			実績値	(単位:回)	1.00	1.00	
			達成度(%)		100.0	100.0	
	目標値の積算方法	河川清掃回数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	2,202.00	2,228.00	
				一般財源(単位:千円)	1,905.00	2,228.00	
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	
実績値				(単位:)	0.00	0.00	
達成度(%)				0.0	0.0		
目標値の積算方法		河川清掃回数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標		①	指標内容 環境改善件数	目標値	(単位:回)	1.00	1.00
	実績値			(単位:回)	1.00	1.00	
	達成度(%)			100.0	100.0		
	目標値の積算方法	河川清掃回数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	2,202.00	2,228.00	
				一般財源(単位:千円)	1,905.00	2,228.00	
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	
達成度(%)				0.0	0.0		
目標値の積算方法		河川清掃回数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00	
(3) が困難な場合		①	活動内容				目標
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		河川管理者との協働により、河川を清掃して環境美化を図る事業であり、大阪府から経費の半額分を負担金として繰入されており、また、地元住民の関心も高いことから継続とした。				

事務事業分析シート

所属名	水循環室	事業名	河川親水環境整備事業	事業区分	その他
事務事業番号	00773				

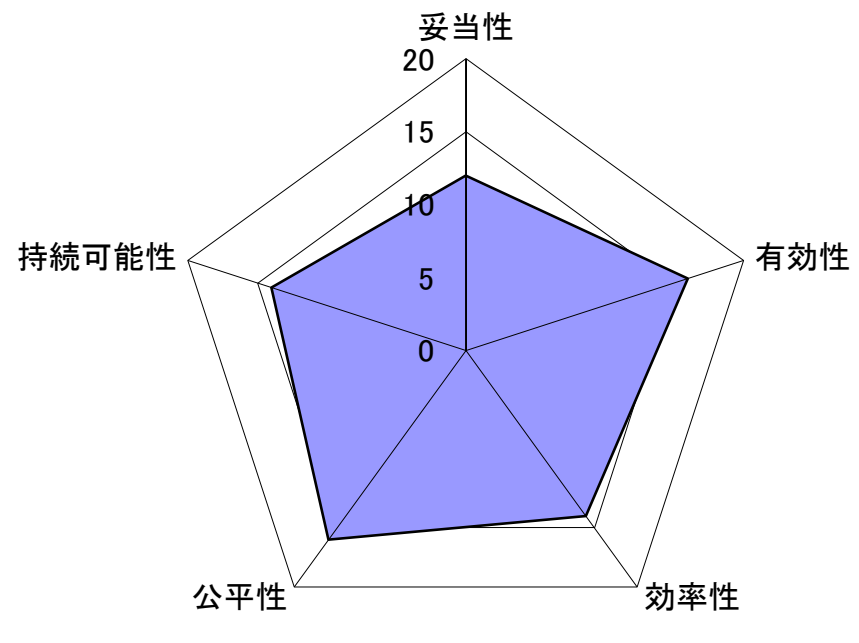
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	12	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	16	②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	14	②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	16	②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 b. 受益者負担を求めているが、見直しを検討する余地がある。(3点)	3	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	14	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
		評価点合計 (100点満点)	72	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	水循環室	事務事業番号	00773
-----	------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他												
(2)各視点からの評価結果	 <table border="1"> <caption>各視点からの評価結果 (Radar Chart Data)</caption> <thead> <tr> <th>視点</th> <th>評価結果 (点数)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>妥当性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>持続可能性</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table>			視点	評価結果 (点数)	妥当性	10	有効性	10	効率性	10	公平性	5	持続可能性	5
視点	評価結果 (点数)														
妥当性	10														
有効性	10														
効率性	10														
公平性	5														
持続可能性	5														
(3)現状分析	<p>現状では、年2回実施する糸田川の河川清掃のみを行っている事業である。環境美化意識の高い地区からの要望であり、市民にとって有効であると考えている。</p>														

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

糸田川の河川清掃については、河川管理者である大阪府と協働による実施のため、経費の半額分を負担金として繰入されている。

事務事業評価調書

事務事業名	水路新設改良事業				
担当部名	下水道部	室課名	水循環室	室課長名	松川 豊

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	不明	改正 内容	水行政(排水)の一元化に伴い、(旧)建設部から下水道部に事務移管されたため。											
(2)	直近の改正	平成元年度													
(3)	根拠法令等	なし													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	05	環境を守り育てるまちづくり	節	02	細節	10							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input checked="" type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
		範囲等	吹田市内各所の一般水路、排水管等												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	水路、排水管等の不良個所の改良を行う。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	適正な機能や安全面の確保及び効率的な維持管理が可能となる。													
(7)	事業概要	市内各所の一般水路・排水管等の治水機能確保のため改良工事を行う。													
(8)	H28事業別 予算コード	会計	01	款	08	項	03	目	03	大事業	01	中事業	01	小事業	01
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		44,750	29,970	68,306	40,170	67,170							
		人件費	職員数	人	5.60	5.60	5.60	5.60	5.60						
			総額(B)	千円	46,772	45,019	45,752	44,240	45,092						
		総事業費(A+B)		91,522	74,989	114,058	84,410	112,262							
		特定財源(C)		0	0	0	0	0							
		(内訳)	国		0	0	0	0	0						
			府		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
		市負担(D)		91,522	74,989	114,058	84,410	112,262							
(内訳)	地方債		0	0	0	0	0								
	その他		0	0	0	0	0								
	一般財源		91,522	74,989	114,058	84,410	112,262								
財源計(C+D)		91,522	74,989	114,058	84,410	112,262									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 工事内容が多種多様で数量化が困難であるため、画一的な指標としては工事本数で管理している。	目標値	(単位:本数)	3.00	2.00	0.00
			実績値	(単位:本数)	3.00	2.00	
			達成度(%)		100.0	100.0	
	目標値の積算方法	水路等の改良工事件数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	24,996.33	42,961.00	
				一般財源(単位:千円)	24,996.33	42,961.00	
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	
実績値				(単位:)	0.00	0.00	
達成度(%)				0.0	0.0		
目標値の積算方法		水路等の改良工事件数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標		①	指標内容	目標値	(単位:箇所)	3.00	2.00
	実績値			(単位:箇所)	3.00	2.00	
	達成度(%)			100.0	100.0		
	目標値の積算方法	水路等の改良工事件数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	24,996.33	42,961.00	
				一般財源(単位:千円)	24,996.33	42,961.00	
	(3) が困難な場合	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	
達成度(%)				0.0	0.0		
目標値の積算方法		水路等の改良工事件数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00	
①		活動内容				目標	
	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		市内各所の一般水路・排水管等の治水機能確保のため、改良工事を行う事業であり、市民の安心・安全を守るためには不可欠なものとして継続した。				

事務事業分析シート

所属名	水循環室	事業名	水路新設改良事業	事業区分	建設事業
事務事業番号	00774				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 b. 事業費は増大したが、市負担はそれほど増加していない。(3点)	3	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	82	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	水循環室	事務事業番号	00774
-----	------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>市民の安心・安全を守るための事業であり、サービスの対象範囲や水準は適正である。 今後、老朽化対策として排水管の改築が増加する見込みであり、市負担が増加する可能性がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

特になし。

事務事業評価調書

事務事業名	公共下水道管渠整備事業(下水道特別会計)				
担当部名	下水道部	室課名	水循環室	室課長名	元樋 幸蔵

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	昭和34年度	改正内容	なし					
(2)	直近の改正	なし							
(3)	根拠法令等	下水道法、都市計画法							
(4)	市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)					
		一部にチェックした場合はその説明							
(5)	総合計画の体系	章 06	安全で魅力的なまちづくり	節 02	細節 70				
(6)	目的	対象(誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input checked="" type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他			
		範囲等	吹田市全域の下水管渠など(汚水・雨水)						
		目標(どういう状態にしたいのか)	汚水については全市水洗化の整備を目指し、雨水については浸水被害を防止する。						
	結果(どのような効果が得られるのか)	汚水については公衆衛生を改善し、雨水については浸水被害の軽減を図る。							
(7)	事業概要	全市水洗化の達成のため、引続き汚水管渠整備を行う。雨水未整備地区の浸水に対する安全度を高め、引続き雨水管渠整備を行う。浸水対策については、浸水頻度の高い箇所から重点的に対策を行う。【平成29年度より企業会計に移行】							
(8)	H28事業別予算コード	会計 03	款 01	項 02	目 01	大事業 02	中事業 01	小事業 01	
(9)	事業費と財源の内訳	項目		平成27年度(2015年度)		平成28年度(2016年度)		平成29年度(2017年度)	
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)	
		事業費(A)		620,164	467,461	262,432	247,009	0	
		人件費	職員数	人	11.00	11.00	14.00	14.00	0.00
			総額(B)	千円	87,516	83,468	111,048	109,634	0
		総事業費(A+B)		707,680	550,929	373,480	356,643	0	
		特定財源(C)		141,352	141,023	155,978	181,143	0	
		(内訳)	国	47,000	54,400	12,000	8,500	0	
			府	0	0	0	0	0	
			その他	94,352	86,623	143,978	172,643	0	
		市負担(D)		566,328	409,906	217,502	175,500	0	
		(内訳)	地方債	559,600	407,700	211,600	175,500	0	
その他	6,728		2,206	5,902	0	0			
一般財源	0		0	0	0	0			
財源計(C+D)		707,680	550,929	373,480	356,643	0			
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施							
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①					
				②					
				③					
		主な委託内容							
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①							
		②							
		③							
<input type="checkbox"/> その他	内容								

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 工事内容が多種多様で数量化が困難であるため、画一的な指標としては工事本数で管理している。	目標値	(単位:工区)	7.00	4.00	/
			実績値	(単位:工区)	7.00	4.00	
			達成度(%)		100.0	100.0	
	目標値の積算方法 当該年度発注予定本体工事を目標値とし執行済工事を実績値として算出する。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	78,704.14	89,514.25		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(2) 成果指標		①	指標内容 雨水、汚水本管の排水改善件数	目標値	(単位:工区)	7.00	4.00
	実績値			(単位:工区)	7.00	4.00	
	達成度(%)			100.0	100.0		
	目標値の積算方法 当該年度の執行済工事件数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	78,704.14	89,514.25		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)		0.0	0.0				
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00			
(3) が困難な場合を示す	①	活動内容				目標	
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		下水道管渠の整備を進める事により、汚水未整備地域の解消や公衆衛生・生活環境の向上が図られ、浸水地域の被害の予防軽減を図り、安心・安全で快適に暮らせるまちづくりを実現する都市基盤施設である事業のため、継続とした。なお、下水道事業は平成29年度から地方公営企業法の一部(財務規定等)を適用し、企業会計に移行しました。これに伴う予算の再編等により、事務事業評価の継続性を確保できないため、平成29年度に係る記載欄については記載なしとしています。				

事務事業分析シート

所属名	水循環室	事業名	公共下水道管渠整備事業(下水道特別会計)	事業区分	建設事業
事務事業番号	00775				

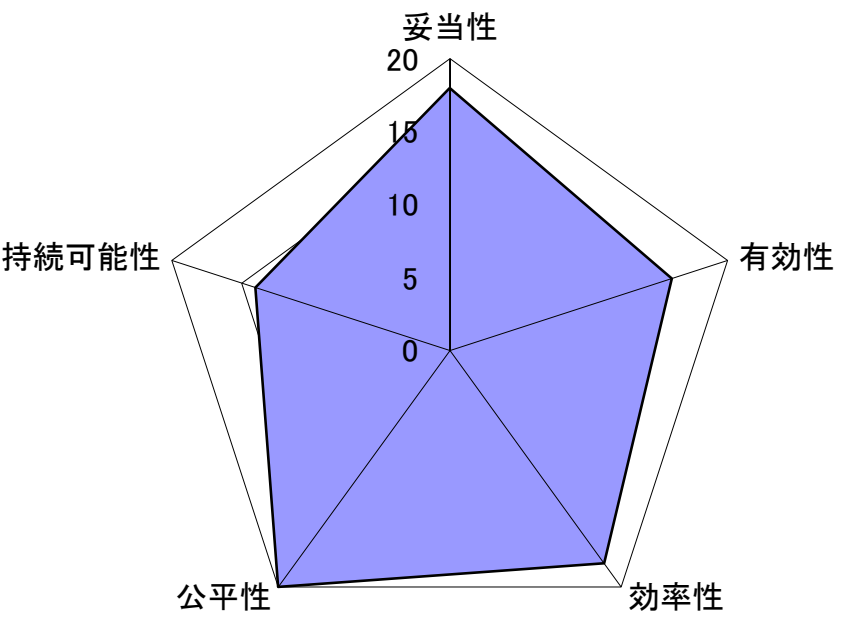
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点		
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
		b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。		
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。		
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		b. 事業費は増大したが、市負担はそれほど増加していない。(3点)	3	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。		
		b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
		b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
		a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	86	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	水循環室	事務事業番号	00775
-----	------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>汚水整備については、未整備地区がまだ残っており、その解消を図っています。雨水整備については、浸水被害の軽減を図るため、雨水管整備や局部管整備など実施しています。今後、老朽化した管渠が急激に増えていくことから、事業費の平準化を図り進めていきます。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

下水道事業は平成29年度から地方公営企業法の一部(財務規定等)を適用し、企業会計に移行しました。

事務事業評価調書

事務事業名	正雀処理区編入事業(下水道特別会計)				
担当部名	下水道部	室課名	水循環室	室課長名	松川 豊

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成19年度	改正 内容	なし											
(2)	直近の改正	平成26年度													
(3)	根拠法令等	下水道法、都市計画法													
(4)	市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	06	安全で魅力的なまちづくり	節	02	細節	70							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input checked="" type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
		範囲等	正雀下水処理場及び正雀処理区域の汚水排水												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	正雀下水処理場を廃止し、正雀処理区の汚水排水を大阪府安威川流域下水道中央処理区に編入する。												
		結果 (どのような効果が得られるのか)	流域下水道のスケールメリットにより維持管理費や建設費の縮減効果が期待できる。												
(7)	事業概要	正雀下水処理場を廃止し、大阪府安威川流域下水道に編入することで維持管理や建設費の縮減を図るとともに、既存管渠の接続工事及び正雀処理区の改築更新工事を行うものです。【平成29年度より企業会計に移行】													
(8)	H28事業別 予算コード	会計	03	款	01	項	02	目	01	大事業	05	中事業	01	小事業	01
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		1,468,543	1,264,582	382,855	453,261	0							
		人件費	職員数	人	2.50	2.50	2.50	2.50	0.00						
			総額(B)	千円	19,890	18,970	19,830	19,578	0						
		総事業費(A+B)		1,488,433	1,283,552	402,685	472,839	0							
		特定財源(C)		1,130,304	987,834	54,178	105,239	0							
		(内訳)	国	3,000	3,500	21,000	56,300	0							
			府	0	0	0	0	0							
			その他	1,127,304	984,334	33,178	48,939	0							
		市負担(D)		358,129	295,718	348,507	367,600	0							
		(内訳)	地方債	357,800	295,700	335,700	367,600	0							
			その他	329	18	12,807	0	0							
一般財源	0		0	0	0	0									
財源計(C+D)		1,488,433	1,283,552	402,685	472,839	0									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 工事内容が多様で数量化が困難であるため、画一的な指標としては雨天時の浸入水対策工事の本数で管理している。	目標値	(単位:工区)	8.00	8.00	/
			実績値	(単位:工区)	8.00	8.00	
			達成度(%)		100.0	100.0	
	目標値の積算方法 当該年度発注予定本体工事を目標値とし、執行済工事を実績値として算出する。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	160,444.00	59,136.38		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	
実績値				(単位:)	0.00	0.00	
達成度(%)				0.0	0.0		
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(3) が 困難な場合を示す		①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00
	実績値			(単位:)	0.00	0.00	
	達成度(%)			0.0	0.0		
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
①	活動内容				目標		
	②	成果内容	正雀処理区の汚水排水を大阪府流域下水道中央処理区へ編入する。その条件となる雨天時の浸入水削減を図る。			達成状況	正雀処理場を廃止し、施設を一部撤去した。正雀川排水区の汚水管渠の改築更新により雨天時の浸入水対策を実施した。
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		正雀処理区を安威川流域下水道に編入する条件となっている雨天時の浸入水対策として、流量調整施設を検討・実施するとともに、管渠の老朽化による浸入水を削減するため、長寿命化計画に基づき耐震化を含めた改築更新を効率的に実施しなければならない事業であることから継続とした。また、吹田操作場跡地のまちづくりと一体なまちづくりを図れるよう、旧正雀下水処理場の撤去工事を実施していく。「なお、下水道事業は平成29年度から地方公営企業法の一部(財務規定等)を適用し、企業会計に移行しました。これに伴う予算の再編等により、事務事業評価の継続性を確保できないため、平成29年度に係る記載欄については記載なしとしています。」				

事務事業分析シート

所属名	水循環室	事業名	正雀処理区編入事業(下水道特別会計)	事業区分	建設事業
事務事業番号	00776				

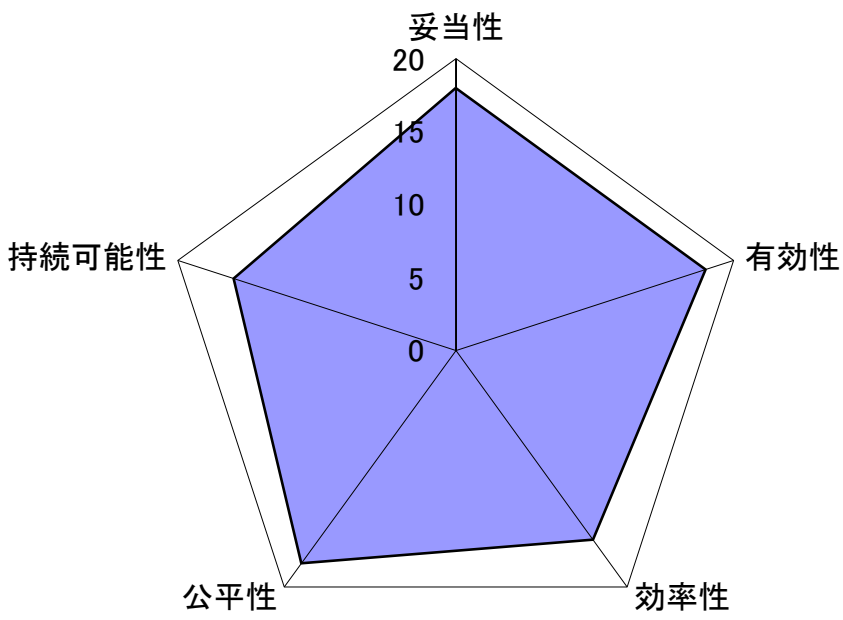
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点		
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点		
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点		
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。		
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点		
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。		
		b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点		
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点		
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		b. 事業費は増大したが、市負担はそれほど増加していない。(3点)	3	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。		
		b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点		
評価点合計 (100点満点)	86	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	水循環室	事務事業番号	00776
-----	------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>正雀処理区を安威川流域下水道に編入する条件となっている雨天時の浸入水対策として、流量調整施設を検討・実施するとともに、管渠の老朽化による浸入水を削減するため、長寿命化計画に基づき耐震化を含めた改築更新を効率的に実施しなければならない事業であることから継続とした。また、吹田操作場跡地のまちづくりと一体なまちづくりを図れるよう、旧正雀下水処理場の撤去工事を実施していく。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

「下水道事業は平成29年度から地方公営企業法の一部(財務規定等)を適用し、企業会計に移行しました。」

事務事業評価調書

事務事業名	雨水レベルアップ整備事業(下水道特別会計)				
担当部名	下水道部	室課名	水循環室	室課長名	元樋 幸蔵

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成10年度	改正内容	なし					
(2)	直近の改正	なし							
(3)	根拠法令等	下水道法、都市計画法							
(4)	市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)					
		一部にチェックした場合はその説明							
(5)	総合計画の体系	章 06	安全で魅力的なまちづくり	節 02	細節 70				
(6)	目的	対象(誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input checked="" type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他			
		範囲等	吹田市南部地域(南吹田処理区及び川面処理区)の下水管渠など。						
		目標(どういう状態にしたいのか)	10年確率降雨(約50mm/h)に対応した下水道施設を整備する。						
	結果(どのような効果が得られるのか)	浸水被害の軽減を図り、浸水に対する安全度が向上する。							
(7)	事業概要	吹田市の南部地域において、浸水のない安全で快適な都市を目指し、大雨に対応できる雨水増補管の建設や、ポンプ施設を増設するものです。 【平成29年度より企業会計に移行】							
(8)	H28事業別予算コード	会計 03	款 01	項 02	目 01	大事業 07	中事業 01	小事業 01	
(9)	事業費と財源の内訳	項目		平成27年度(2015年度)		平成28年度(2016年度)		平成29年度(2017年度)	
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)	
		事業費(A)		88,346	76,214	60,791	544,422	0	
		人件費	職員数	人	2.50	2.50	2.50	2.50	0.00
			総額(B)	千円	19,890	18,970	19,830	19,578	0
		総事業費(A+B)		108,236	95,184	80,621	564,000	0	
		特定財源(C)		19,913	19,278	25,980	277,900	0	
		(内訳)	国	0	0	6,000	258,000	0	
			府	0	0	0	0	0	
			その他	19,913	19,278	19,980	19,900	0	
		市負担(D)		88,323	75,906	54,641	286,100	0	
		(内訳)	地方債	88,300	75,600	54,500	286,100	0	
その他	23		306	141	0	0			
一般財源	0		0	0	0	0			
財源計(C+D)		108,236	95,184	80,621	564,000	0			
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施							
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①					
				②					
				③					
		主な委託内容							
		<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①					
②									
③									
<input type="checkbox"/> その他	内容								

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 工事内容が多種多様で数量化が困難であるため、画一的な指標としては工事本数で管理している。	目標値	(単位:工区)	1.00	3.00	/
			実績値	(単位:工区)	1.00	3.00	
			達成度(%)		100.0	100.0	
	目標値の積算方法 当該年度発注予定本体工事を目標値とし執行済工事を実績値として算出する。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	95,184.00	188,084.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	
実績値				(単位:)	0.00	0.00	
達成度(%)				0.0	0.0		
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(3) が 困難な場合		①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00
	実績値			(単位:)	0.00	0.00	
	達成度(%)			0.0	0.0		
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	(4) 総合評価	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	
達成度(%)				0.0	0.0		
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
①		活動内容		目標			
②	成果内容	吹田市南部地域の浸水被害の軽減を図る	達成状況	豊津工区は完成しており、中の島・片山工区についても実施していく			
今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定					
評価の説明		<p>市域南部には雨水排除能力が低い地域が残っており、雨水レベルアップ整備事業は、浸水対策として市民の要望の高い事業であることから、継続とした。しかしながら、事業費が大きく長期間を要することが問題であるため、できる限り国庫補助金を活用することで、市の負担額の縮減に努めることが必要である。</p> <p>なお、下水道事業は平成29年度から地方公営企業法の一部(財務規定等)を適用し、企業会計に移行しました。これに伴う予算の再編等により、事務事業評価の継続性を確保できないため、平成29年度に係る記載欄については記載なしとしています。</p>					

事務事業分析シート

所属名	水循環室	事業名	雨水レベルアップ整備事業	事業区分	建設事業
事務事業番号	00777				

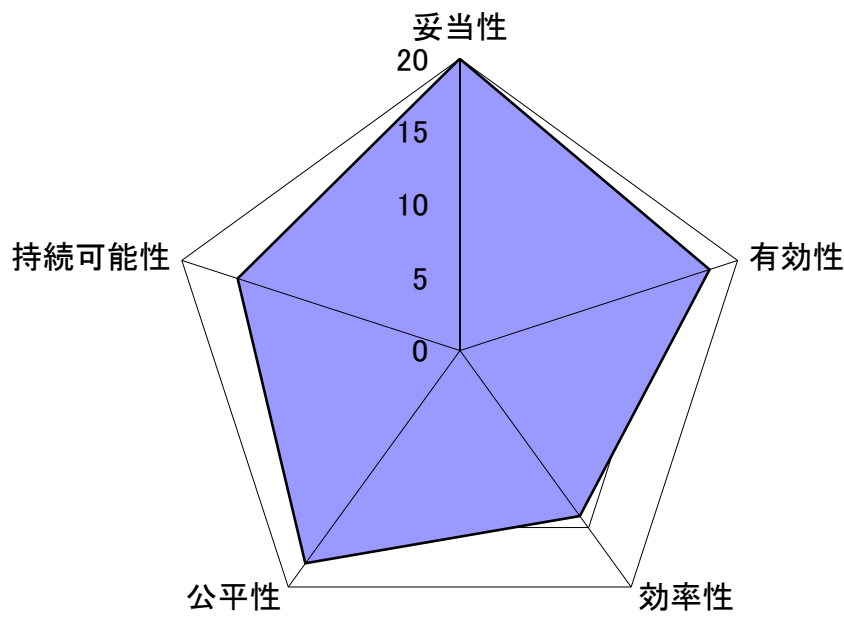
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	14	①単位当たりコストは適正ですか。 b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。 b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 b. 事業費は増大したが、市負担はそれほど増加していない。(3点)	3	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	86	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	水循環室	事務事業番号	00777
-----	------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>一部が完成し供用開始された豊津工区においては、浸水被害が軽減され事業による効果が発揮されています。今後、中の島・片山工区の事業を推進するにあたり、事業費が大きく長期間を要することから、下水道部全体の他事業と合わせて、費用の平準化が必要である。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事業費が大きいため、国や大阪府に交付金支援について要望している。
「下水道事業は平成29年度から地方公営企業法の一部(財務規定等)を適用し、企業会計に移行しました。」

事務事業評価調書

事務事業名	浸水対策事業				
担当部名	下水道部	室課名	水循環室	室課長名	石黒 秀樹

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成28年度	改正内容	なし					
(2) 直近の改正	なし							
(3) 根拠法令等	吹田市止水板設置助成金交付要綱							
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)					
	一部にチェックした場合はその説明							
(5) 総合計画の体系	章 06	安全で魅力的なまちづくり	節 01	細節 10				
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他			
	範囲等	浸水地域						
	目標 (どうい状態にしたいのか)	浸水被害の軽減						
	結果 (どのような効果が得られるのか)	安全で快適な都市環境を確保し、市民の命を守り、まちの品格を保つ。						
(7) 事業概要	浸水対策業務(土のう運搬・積立等)、止水板設置助成金の交付							
(8) H28事業別予算コード	会計 01	款 09	項 01	目 04	大事業 01	中事業 02	小事業 10	
(9) 事業費と財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)	
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)	
	事業費(A)		0	0	9,211	6,911	8,462	
	人件費	職員数	人	0.00	0.00	0.25	0.25	0.25
		総額(B)	千円	0	0	2,043	1,976	2,013
	総事業費(A+B)		0	0	11,254	8,887	10,475	
	特定財源(C)		0	0	0	0	0	
	(内訳)	国		0	0	0	0	0
		府		0	0	0	0	0
		その他		0	0	0	0	0
	市負担(D)		0	0	11,254	8,887	10,475	
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0
		その他		0	0	0	0	0
一般財源		0	0	11,254	8,887	10,475		
財源計(C+D)		0	0	11,254	8,887	10,475		
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施							
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	水防活動業者				
			②					
			③					
			主な委託内容	土のう運搬・積立等				
	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①	止水板設置者				
②								
③								
<input type="checkbox"/> その他		内容						

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	止水板設置助成金のPRビラ配布	目標値	(単位:枚)	0.00	300.00	300.00	
			実績値	(単位:枚)	0.00	371.00		
			達成度(%)		0.0	123.7		
	②	近年の浸水履歴等	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	18.63	/	
				一般財源(単位:千円)	0.00	18.63		
			目標値の積算方法					
	(2) 成果指標	①		目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
				実績値	(単位:)	0.00	0.00	
				達成度(%)		0.0	0.0	
		②		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	/
一般財源(単位:千円)					0.00	0.00		
目標値の積算方法								
(3) が困難な場合		①	活動内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
				実績値	(単位:)	0.00	0.00	
				達成度(%)		0.0	0.0	
		②	成果内容	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	/
	一般財源(単位:千円)				0.00	0.00		
	目標値の積算方法							
	の3が困難な場合	①	活動内容		目標			
		②	成果内容	市民からの土のう設置等の要請に対応する。	達成状況	浸水被害の軽減に寄与した。		
	(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
		評価の説明		浸水被害軽減のために、土のうの運搬・設置や、止水板等の設置助成金の交付を行っており、市民の安心・安全を守るために継続する必要がある。				

事務事業分析シート

所属名	水循環室	事業名	浸水対策事業	事業区分	その他
事務事業番号	01629				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 c. 定量的な指標設定ができておらず、目標や達成状況の分析も十分できていない。(1点)	1	点
(2) 有効性 (20点)	16	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	16	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	16	④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	86	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	水循環室	事務事業番号	01629
-----	------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>本事業は、応急的な浸水対策に有効であるとともに、自助防災手段として、止水板設置助成金を設置者に交付することで、自助防災の一助となり、市民の防災意識の向上にも寄与している。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)